

2019年度（第39回）四国クラブ対抗香川県予選競技

開催日：令和元年7月11日（木）
開催コース：高松カントリー倶楽部

主催 香川県ゴルフ協会
共催 四国ゴルフ連盟
後援 四国新聞社

本競技はR&AとUSGAが承認したゴルフ規則（2019年1月施行）と下記のローカルルールと競技の条件を適用する。ローカルルールと競技の条件の修正や追加については各競技の競技規定やプレーヤーへの注意事項、及び各会場の公式掲示板で確認すること。下記に参照するローカルルールの全文については2019年1月発効の「ゴルフ規則のオフィシャルガイド」を参照すること（www.jga.or.jp で閲覧可）。別途規定されている場合を除き、ローカルルールの違反の罰は一般の罰（2罰打）。

ローカルルールと競技の条件

1. アウトオブバウンズ【規則18.2】

- アウトオブバウンズの境界は白杭のコース側を地表レベルで結んだ線によって定められる。
- アウトオブバウンズと定められた境界を挟んだどちらか一方からプレーされ、その境界を挟んだ反対側に止まった球はアウトオブバウンズである。そのことは球が他のホールではインバウンズとなるコースの別の部分に止まった場合にも当てはまる。

2. 異常なコース状態（動かさない障害物を含む）【規則16】

- 修理地
 - 青杭を立て、白線で囲まれた区域。
 - 委員会が異常な損傷とみなした地面（例：観客や車両の動きによって生じた損傷区域）。
 - フェアウェイの長さかそれ以下に刈ったジェネラルエリアの部分にあるヤーデージ用にペイントされた線や点は修理地として扱われ、規則16.1に基づく救済を受けることができる。ヤーデージ用のペイントがスタンスだけに障害となる場合、障害は存在しない。
- 動かさない障害物
 - 白線の区域と動かさない障害物がつながられている場合、又は動かさない障害物と他の動かさない障害物が接している場合、ひとつの異常なコース状態として扱われる。
 - パッティンググリーンに近接する動かさない障害物：ローカルルールひな型F-5を適用する。
 - 排水溝はジェネラルエリアの一部として扱われ、ペナルティーエリアではない（例外：ペナルティーエリアとしてマーキングされている排水溝）。
 - 人工の表面を持つ道路に隣接している排水溝はその道路の一部として扱う。
 - 距離表示板は動かさない障害物とする。

3. クラブと球

- 適合ドライバーヘッドリスト：ローカルルールひな型G-1を適用する
このローカルルールに違反したクラブでストロークを行ったことに対する罰：失格
- 適合球リスト：ローカルルールひな型G-3を適用する。
このローカルルールの違反の罰：失格

注：適合クラブと球の更新されたリストはwww.randa.orgで閲覧できる。

4. プレーの中断と再開の方法【規則5.7b】

プレーの中断と再開については以下の方法によって伝えられる。

- プレーの即時中断：カート掲載の携帯電話及び競技委員を通じての連絡。
プレーの中断：カート掲載の携帯電話及び競技委員を通じての連絡。
プレーの再開：カート掲載の携帯電話及び競技委員を通じての連絡。

注：険悪な気象条件による中断（即時中断）中は、委員会が開放を宣言するまで、すべての練習施設は閉鎖される。閉鎖された練習場で練習するプレーヤーには練習を止めるように勧告し、それでも練習を止めない場合には失格となることがある。

5. 練習【規則5.2】

- ストロークプレーでは、規則5.2bは次のように修正される：プレーヤーはラウンド前やラウンドとラウンドの間に競技が行われるコース上で練習してはならない。
- プレーヤーは2つのホールのプレーの間、次のことをしてはならない。
 - ①終了したばかりのパッティンググリーンやその近くで練習ストロークを行う。
 - ②終了したばかりのパッティンググリーンの表面をこすったり、球を転がすことによってパッティンググリーンをテストする。

例外：競技日にプレーヤーはコース内で練習用に識別されているすべての練習区域を練習のために使うことができる。

6. 距離計測器【規則4.3a】

ローカルルールひな型G-5を適用し、規則4.3aは次の通り修正される：「ラウンド中、プレーヤーは電子的な距離計測器を使用して距離情報を得てはならない。」

このローカルルールの違反の罰：規則4.3参照

7. オーディオ・ビデオ機器の使用禁止

ラウンド中、プレーヤーはいかなる内容であっても個人のオーディオ・ビデオ機器を視聴してはならない。

このローカルルールの違反の罰：規則4.3参照

8. 移動

ラウンド中、プレーヤーはいつでも動力付きの移動機器に乗車することができる。

9. キャディー（セルフプレー）

規則10.3は次のように修正される：プレーヤーはキャディーを使用してはならない。

このローカルルールの違反の罰：違反のあった各ホールに対して一般の罰を受ける。

10. チームキャプテンとアドバイス・ギバー（ローカルルールひな型H-2・H-3・H-4参照）

(1) チームキャプテンはそのチームがラウンド中にアドバイスを求めたり受けたりすることができる。

各チームはアドバイス・ギバー（アドバイザー）をチームキャプテンの他に1人指名することができる。チームはそのアドバイス・ギバーを前もって委員会に届けなければならない。

(2) チームキャプテン及びアドバイザーは、同じクラブのメンバーまたは職員でなければならない。

アドバイス・ギバー（キャプテン及びアドバイザー）は、お互いに兼任できるがプレーヤーと兼任することはできない。アドバイス・ギバーがプレーヤーを兼任する場合は、その資格を取り消さなくてはならない。

(3) アドバイス・ギバーはチームのプレーヤーの球がパッティンググリーン上にある場合、プレーの線の指示をしてはならない。またアドバイス・ギバーはパッティンググリーン上やティーインググラウンド上に立ち入ってはならない。

(4) アドバイス・ギバーは自分のチームの各プレーヤーとの関係において、そのサイドのプレーヤーと同じステータスを持つ。

11. 順位の決定

参加選手6名のうち上位5名の合計打数により決定し、合計打数が等しいときは、参加選手の第6位の打数により決定し、なお同打数のときは同位のベストスコアの少ない方が優先し、なお同打数のときは順次第2位以下の打数の少ない者より順位を決定する。

12. スコアカードの提出

プレーヤーのスコアカードはレコーディングオフィス/エリアからプレーヤーが離れた（両足が出た）ときに正式に委員会に提出されたことになる。

13. 競技終了時点

競技結果は、競技委員長の成績発表がなされた時点をもって正式に発表されたことになり、終了となる。

14. 悪天候などにより通常の競技運営に支障をきたす場合が生じたときは、委員会により競技方法を変更する事がある。

注 意 事 項

① 従来の予備グリーンは目的外グリーンである。（規則13.1f参照）

② グリーンに著しく損傷を与えるシューズは使用禁止とすることがある。

③ コース内での携帯電話は、委員会への問合せ等の緊急時を除き、許可なく使用を禁止する。

④ 練習は指定練習場で行い、打放練習場においては備え付けの球を使用し、1人1コイン(20球)までとする。

⑤ 競技委員会は競技中を含めいつでも出場に相応しくないと判断した競技者の参加資格を取り消す事ができる。

⑥ キャプテン、アドバイザー、選手の変更は当日の監督会議開始時間までとする。

（可能な限り前日までに事務局まで連絡すること）

⑦ 本競技上位6チームが8月6日（火）錦山c c（高知県）での四国決勝大会へ出場することができる。

競技委員長 青木 茂